

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

発行者：朝日連峰保全協議会

■平成 27 年度 朝日連峰保全協議会 合同保全作業の報告について

今年度の合同保全作業は平成 27 年 8 月 29 日（土）～30 日（日）に、朝日連峰銀玉水上部において実施しました。当会の合同保全作業は 8 回目（平成 20 年実証試験を含む）を迎え、銀玉水上部においては平成 21 年に続いて 2 回目の合同保全作業となりました。

【実施スケジュール】

●8 月 29 日（土）	●8 月 30 日（日）
7:00 古寺鉱泉口集合、点呼・挨拶・班編制	7:00 大朝日岳山頂避難小屋発
7:15 登山開始	7:20 銀玉水上部着
12:30 頃 銀玉水上部着	保全作業
保全作業（A・B・C の 3 班に分かれ作業）	8:40 作業ふりかえり・講評
15:00 作業終了	9:10 解散、各自下山開始
15:30 大朝日岳山頂避難小屋着、懇親会【泊】	古寺鉱泉口着



【出発前 渋谷代表と花山統括リーダーの挨拶】



【各班作業地（'15/7/26 撮影）】



【事前の荷上げ資材 総量約 380 kg】

【作業地概況】

作業地は銀玉水（水場）上部の標高 1680m 周辺、複線・拡幅化している登山道沿いです。周辺の植生は雪田草原となっています。平成 21 年合同保全作業では、緑化ネット敷設による植生回復や自然石を利用した歩行路の固定・分散排水等の作業を実施しました（詳細は当該ニュースレター第 2 号をご参照ください）。以降、大規模な修復作業は行われず、一旦回復し始めた植生が喪失はじめており、歩行路も意図したとおりに固定化されず、人為的な影響による荒廃が進行している状況です。

【作業内容】

今回の作業にあたっては、現地事前調査を兼ねた保全技術講習会（'15/7/25-26、主に技術部会員を対象）にて修復方法を検討し、施工計画図の作製、資材や工具の種類・量の算出を行いました。それら成果品をもとに、事前の資材・工具の荷上げを実施しました。

A 班は、登山道中央部の侵食箇所に対し、侵食・土砂流出抑制のためにヤシ製土のうによる土留を連続的に設置しました。加えて、登山道と植生際の植生回復を図るため、緑化ネット（黄麻製）を敷設しました。また、木柵下部に生じている段差改善のステップとして、ヤシ製土のうを設置しました。



【A班 ヤシ製土のうの土留】



【B班 ヤシネットロールの土留（作業中）】



【B班 ヤシ製ポットによる緑化（作業中）】

B班は、平成21年合同保全作業時に緑化ネットを広範囲に敷設した箇所ですが、ネットはほぼ消失し、植生回復も進んでいませんでした。今回は緑化ネット（黄麻製）敷設のみならず、植生基盤となるよう段々畑をイメージしたヤシネットロール（ヤシ製ネットに土砂とヤシ繊維を包みロール状にした土留）を階段状に設置しました。また、V字侵食部にもヤシ製土のう・ヤシネットロールの土留を連続的に設置しました。

C班は、複線化した歩行路を固定（ロープ・掲示による通行止）し、歩きやすさを考慮しながらヤシ製土のう、ヤシネットロールを設置しました。さらに、登山道の拡幅を抑制・植生回復を図るために、部分的に緑化ネット（黄麻製）を敷設、石組みの修復等を行いました。また、①登山者の踏圧による耐久性確認のため、ヤシ製土のうの上に予め土砂をかける、②ヤシネットロールを巻く際にネット上にまんべんなく土砂を敷き、のり巻き状にぐるぐると固く巻く新しい巻き方、以上の2工法を試行しました。

なお、B・C班ではヤシ製ポットによる緑化、各班の土留には排水溝に堆積した土砂を活用しました。



【C班 予め土砂をかけたヤシ製土のうの土留】



【作業ふりかえり】



【集合写真】

2日目作業終了後には、全員で作業のふりかえりを行いました。各班班長より保全作業の意図や成果を発表し、技術部会アドバイザーの川端郁子氏（株式会社ニュージェック）と菊池俊一氏（山形大学農学部）より講評、意見交換を行いました。

今回の作業には、16団体48名の参加がありました。2日間共に雨天の中の作業でしたが、講習会の成果品である施工計画図もあり、予定より早く作業を終えることができました。担当幹事の花山忠夫氏（朝日山岳会）には統括リーダーとして作業の指揮監督をはじめ、子細に渡ってご尽力いただきました。また、林野庁東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター、環境省東北地方環境事務所、月山朝日公園ボランティア協議会（事務局：山形県村山総合支庁環境課）より資材提供がありました。作業に関わっていただいた朝日連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

【参考ホームページ】

- ・ 環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料
(朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等)
<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>
- ・ 東北地区アクティブレジャー日記
<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

【発行者】

朝日連峰保全協議会（事務局）羽黒自然保護官事務所（下本、白銀）

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777 ・ 080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp